

幌尻岳（2050m）新冠川コース

長い林道歩きをものともせず、全員登頂

平成 28（2016）年 7 月 16 日（金）～18 日（月）

参加者 CL 小山内、SL 澤田、食料会計・渡邊、会計・八重樫、調理・伊藤、調理・栗山 6 名

月 16 日（金）15：00 幌別発～新冠町・判官館バンガロー

17 日（土）5：00 判官館バンガロー～8：00 奥新冠発電所ゲート発～林道～14：54 ポロシリ山荘着、テント小屋泊

18 日（日）登山開始 4：00～9：05 頂上～休憩～下山開始 9：40～14：05 下山終了・ポロシリ山荘着

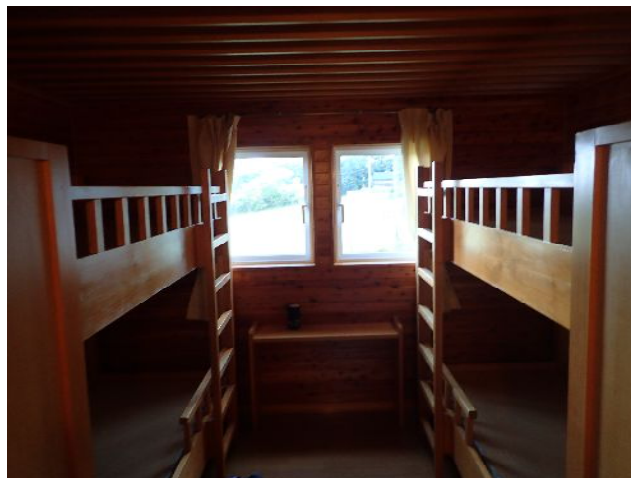
19 日（月）ポロシリ山荘発 5：40～林道～12：15 ゲート前着～「とねっとの湯」入浴～18 時幌別着

今回のコースは 3 年前（2013 年）の 9 月に山行を実施していて 13 人が参加した。今回の会山行（夏山合宿）に参加した会員は男性 3 人、女性 3 人の合計 6 人パーティ。

天候も崩れることなく、順調に林道を歩き、登頂した。



↑ 快適だったバンガロー



↑ 優に 10 人は寝られる快適な室内

↓ バンガロー前で出発前の記念撮影



↓ 奥新冠発電所ゲートから始まる長い林道歩き





↑最初のゲート前にはたくさんの本州ナンバーの車



↑肩に食い込む痛さを解消するため、休憩で疲れを癒した



↑一步一步の確かな歩み



↑奥新冠ダムで一息。疲れもピーク
ここから小屋までの登りが辛かった



↑水分補給と栄養補給の休憩は定期的にとった。そして冗談やらダジャレを出して余裕を見せる渡邊さん



↑7時間かけて着いたポロシリ山荘。



↑ 1 泊目は階段下で寝床を確保した
2 泊目は人も少なりなり、2 階へ移動した



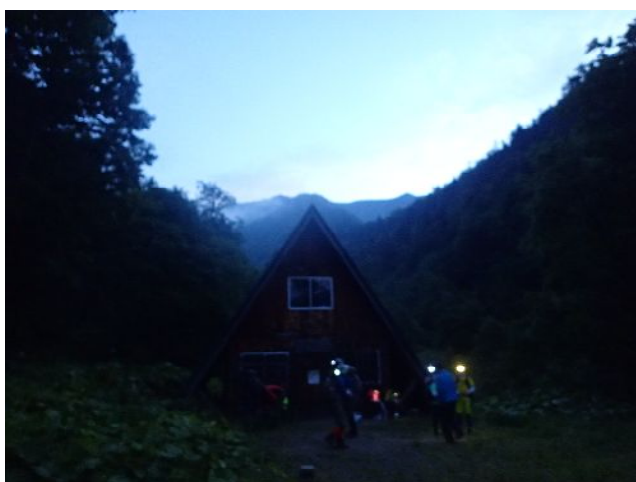
↑ 標高差 1262m を 50 分から 1 時間ごとに休憩を入れながらゆっくり登った。



↑ リーダーら男性陣は外にテントを張り食事の支度



↑ 左に見えるのは奥新冠ダム。急な登りが体にこたえた



↑ 翌朝は山並みが見えていた



↑ 念願の頂上でピースサイン。笑顔がいっぱいに



心なしか憂いを秘めているリーダー（右）↑



↑4日目の朝。もとに戻るための長い林道歩きの前
の記念撮影



↑入り口2つ目のゲート前で会旗を広げて最後の
記念撮影

最後に一人ひとりから今回の感想をもらいました。

【伊藤さん】

「初めての幌尻（岳）でした。とても良かったです。
花もたくさん見ることができ、一番時期の良いとき

に登れました。17.5 kmの長い林道歩きはいつ着くのか心配で、辛かったです。挑戦して良かったです。登山をしていて良かったです。皆さんに感謝します。」

【渡邊さん】

「今回、私が初めて担当した食事当番はどうでしたか。みなさん、満足できましたか？ お世辞でもおいしいと言ってくれたので安心しました。全員登ることができてよかったなあ。幌尻岳の登頂を終えて最高の4日間でした。」

【八重樫さん】

「不安だらけの登山でした。みんなに支えられて、自分の足でなんとか小屋にたどり着きました。次の日は本当に登れるのかと思っていましたが、頂上に立つことが出来ました。自分でも信じられない気持ちです。やり通したという達成感です。皆さんに感謝します。」

【栗山さん】

「生まれて初めて重たい荷物を背負いました。とにかく行き帰りの同じ道と登山道を3日間、歩き通せたことは『自分で自分をほめてやりたい』気分です。おいしいご馳走もありありがとうございました。登山を順調にそして適切にやってくださり、ありがとうございました。感謝しています。花もきれいでした。」

【澤田】

「1泊目のテントで寝て起きたら、ダニが右横腹に食いついていて、ダニを引っ張ったら全部取れ、いまはまだ赤くなっているかゆい。リーダーのリュックサックの30kgの重量にはかなわないけど、食料を入れたリュックサックが肩に食い込んで痛さが取れるまで時間がかかりそうです。全員登頂できて良かったです。最初から最後まで先頭を歩かせてもらいました。長い距離の車の運転、お疲れ様でした。みなさん、ご協力くださり、ありがとうございます。」

【小山内さん】

「全員元気に、ケガなく下ることができて良かったです。渡邊さんの『しゃべり』には重宝しました。気分がだいぶまぎれました。来年は今回と同様、ハードな『トムラウシ地獄谷とトムラウシ山頂上の往復』をしたいです。来年の事業計画の中の夏山合宿に組み込んでください。」

（記録 澤田）